

## 第2学年英語科学習指導案

日 時 平成20年11月10日(月)5校時  
場 所 久慈市立久慈中学校  
学 級 2年C組(男子10名、女子8名、計18名)  
指導者 続石 真史

### 1 単元名 Unit 5 A Park or a Parking Area Dialog (New Horizon English Course book 2)

#### 2 単元について

##### (1) 教材観

本単元で扱う文法事項は、接続詞 **if, that, when, because** を使った文が中心となっている。接続詞を学習することにより、より長い文、深まった表現が可能になる。文が長くなることによって、生徒がつかずくことが考えられるので、英文の構造や区切りを意識させながら指導していきたい。

場面は、駐車場建設を巡る話題が取り上げられている。駅前の違法駐車が原因で、女の子がけがをする。あたらしい駐車場が必要との声がおき、市は公園をつぶして駐車場にすることに決める。都市部で身近な社会問題が取り上げられており、賛否の論点を整理し、自分の意見を表現する態度を養うのに適した教材である。

##### (2) 生徒の実態

全体的におとなしく穏やかな雰囲気、集中して授業を受けている。ほとんどの生徒に家庭学習の習慣が身につけており、本文の視写、単語練習、基本文の練習といった内容の宿題については、毎回9割以上の生徒が取り組んできており、基礎的な学力が身につけている生徒が多い。英語を読むこと、聞き取ることにはさほど苦にしていなくても、話す活動や話したり聞いたりした英語を文字で書いて表現することを苦手としている生徒が多いように思われる。

生徒にとって身近で興味・関心のある話題を取り上げ、積極的に話す活動に参加させたい。また、「書くこと」については、授業、家庭学習、確認テストのサイクルの中で、書く作業を繰り返すことで、「正確に英文を書く力」を定着させたい。

理解度において個人差が大きく、支援を必要とする生徒が数名いるので、机間支援でしっかり個別支援を行いたい。

##### (3) 指導観

学習指導要領では、「外国語を通じて、言語や文化に対する知識を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養う」ことを目標としている。

実践的コミュニケーション能力の基礎を養うために、繰り返しの口頭練習の時間を多く確保し、英文をつまみかずに話すことができるようにしたい。それを、生徒が自分の興味・関心を生かした自己表現につなげ、その自己表現を使って相手と積極的にコミュニケーション活動ができるように取り組ませたい。

本単元では、**I think, because**, など、自分の意見を述べる表現を学習するので、自分にとって大切なもの、久慈市に必要なもの等を話題にし、**自分の意見を相手に伝えたり、相手の意見をたずねたりし、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成したい。**

#### 3 単元の指導計画(9時間)

- ・ Starting Out . . . . . 1.5 時間
- ・ Dialog . . . . . 1.5 時間 (本時)
- ・ Reading for Communication . . . . . 4 時間
- ・ Listing Plus . . . . . 0.5 時間
- ・ Speaking Plus . . . . . 1 時間
- ・ まとめと練習 . . . . . 0.5 時間

#### 4 本時の指導

(1) 目標「I think that～を用いて自分の考えを相手に伝えたり、相手に意見を求めたりする」

(2) 指導の構想

- ① 毎時間取り入れている導入の確認テストで、単語や基本文を復習し、定着を図りたい。
- ② 写真を用いながらの口頭練習、ペアワーク等に十分な時間を確保し、スムーズに話せるように練習させたい。
- ③ 授業のまとめでは、I think ～.を使ってつながりのある3文英作文を書かせ、生徒を評価しながら、これからの学習意欲にもつなげていきたい。

#### 5 本時の具体の評価規準

評価目標		具体の評価規準		
		A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	努力を要する生徒への支援
関 心 意 欲 態 度	“I think”を用いて、相手に自分の考えを伝えたり、たずねたりすることができる。	積極的に、自分の考えを伝えたり、相手にたずねたりしようとする。	自分の考えを相手に伝えたり、たずねたりしようとする。	教師の支援を受けながら、相手に自分の考えを伝えたり、たずねたりしようとする。
知 識 理 解	“I think”を用いた文の意味・形・用法を理解することができる。	“I think”を用いた文の意味・形を正確に理解することができる。	“I think”を用いた文の意味・形を理解することができる。	机間支援で手がかりをもらいながら、“I think”を用いた文の意味を理解することができる。
表 現	“I think”を用いた文で自分の言いたいことを表現することができる。	“I think”を用いた文で自分の言いたいことを、原稿を見ずに正確に表現することができる。	“I think”を用いた文で自分の言いたいことを表現することができる。	机間支援で手がかりをもらいながら、“I think”を用いた文で自分の言いたいことを表現できる。

6 本時の展開

段階	指導内容	学習内容	指導上の留意点
導入 10分	1 あいさつ 2 ウォームアップ 復習テスト 音読 3 基本文の提示	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつ</li> <li>if を含む文の5問小テストを行なう</li> <li>P50、51の音読</li> <li>教師の話聞いて、本時の課題を理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語学習の雰囲気をつくる</li> <li>前回までの復習</li> <li>宿題チェック</li> <li>重要表現の確認をする</li> </ul>
Goal: "I think that ~."を用いて自分の考えを相手に伝えたり、相手の意見を求めたりする			
展開 35分	4 基本文の説明と練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明を聞いて用法を理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続詞 that は省略できることを確認する。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>I think (that) English is important. we need Yoshinoya in Kuji. soccer is exciting.</p> </div>		
	5 パターンプラクティス	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体、個人で何度も繰り返し練習する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙板書、ラミネート</li> <li>下位の生徒にも意図的に指名して理解の状況を確認する</li> </ul>
	6 ペアワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアになって自分の意見を伝え、相手に意見を求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デモンストレーションを行い、円滑に活動できるよう促す。</li> </ul>
7 インタビューゲーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が考えた“I think ~”の文を用いて3人にインタビューをする。その後、原稿を見ずに、何人にインタビューできるかを競う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート記入</li> <li>個別支援</li> </ul>	
8 発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>インタビューを発表する。</li> </ul>		
終末 5分	9 まとめ 3文作文	<ul style="list-style-type: none"> <li>“I think ~.”を含む3文の英文を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート記入</li> <li>個別支援</li> </ul>
	10 次回予告	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークの62ページを次時の宿題として提示する。</li> </ul>	
	11 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>終わりのあいさつをする</li> </ul>	